レッスンガイド

レーザーオフのフレーミングで配置を確認する

保存した配置を確認し、レーザーオフのボックスフレームについて理解します。

このガイドはAIで翻訳されています。重要な手順は英語の原文と照合してください。

ソフトウェア練習

機械なしを選択したまま、未接続の状態を維持します。これらのファイルには、ソフトウェアのプレビュー用の操作例の値が保持されています。実際の材料設定としてテストされたものではありません。コースのマシンプロファイルへのリンクは、受講者用のコピーから削除されています。

レーザーオン	フレーム確認	完了
未チェック	動作前に読む	アイドル待ち

レーザーオフのフレーミングではジョブの範囲を確認します。アートワークの彫刻パスは実行されません。

1. 未接続の状態で**frame-start.lzrproj**を開きます。サンプルタグ用に、ユーザー原点X 80 / Y 80と左下が保存されています。

2. プレビューを確認し、「移動を表示」をオフにします。輪郭と開口部だけが含まれていることを確認します。

3. **frame-finished.lzrproj**と比較します。保存によって保持されるのは配置フィールドであり、実際の材料やクランプを避けてフレームできたことの証明ではありません。

4. 確認済みのセットアップで実際にフレームする場合は、**フレーム: レーザーオンのチェックを外した状態**にし、**ボックス**を選択して、フレーム速度を確認します。デモでは1200 mm/minを使用します。

5. フレームをクリックすると**フレーム確認**が開きます。動作を確認する前に内容を読んでください。移動経路を確保し、実際の機械を監視してください。

6. アイドルになるまで待ちます。アートワーク、原点、または出力対象を変更した後は、再度フレームします。動作を指示せずにオフラインレビューを完了します。

配置ワークシート

配置ワークシート

frame-practice.lzrprojを開きます。そのモードとアンカーを**frame-practice-answer.lzrproj**と比較します。右下を選択し、保存されたフィールドの変更を再現したい場合は別のコピーとして保存します。

□ 保存されたサンプルの点はX 100 / Y 100です。アートワークのアンカーを変更しても、新しい物理的な基準点は設定されません。

□ オフラインレビューにはプレビューと保存されたフィールドを使用します。物理的なクリアランスの確認は、使用する機械で自分で行ってください。

練習問題の回答には、どのジョブ原点が保存されていますか？

実際のボックスフレームでは、何を避ける必要がありますか？

どの変更を行った場合に、もう一度配置を確認する必要がありますか？

比較の意味を保つ

保存されたフィールドと説明された理由を比較します。ファイルやソフトウェアの状態だけでは、実際の機械を確認できません。

解説付きの回答とファイル

解説付きの回答とファイル

練習フィールド
ユーザー原点X 100 / Y 100と右下。練習用ジオメトリは72 x 28 mmのタグで、8 mmの開口部があります。

物理的な確認
すべての側面が材料の端、クランプ、周囲の移動範囲を避けているかを記録します。保存された回答から、その確認結果を得ることはできません。

再確認のきっかけ
デザインの移動、原点の変更、または出力対象の変更によって、フレーム範囲が変わることがあります。

frame-finished.lzrproj
保存されたデモ用セットアップであり、物理的な結果が完了したことを示すものではありません。

frame-practice-answer.lzrproj
試行後に、保存されたフィールドとアートワークを比較します。

frame-practice.lzrproj
このレッスン用の独立したスターターです。

frame-start.lzrproj
示されたセットアップに従ってください。

メーカーが文書化した基準手順と、作業エリア内の原点を使用してください。ホーミングは、対応して設定されている場合にのみ適用されます。

該当する場合、Beam Bench 0.2.37で示された操作と修正済みの終了状態に一致します。後のパネルレイアウトは異なる場合があります。